

今月は下巻、最終です。どんな懐かしいおかず、食卓がでできますか？

17.欧米の味の乳製品、ヨーグルトやチーズ

ヨーグルトは幼稚園でも食べていた。小ぶりのガラス瓶に入っていて動物の絵が書いてあり、蓋が紙で、スプーンですくって食べる。容器を洗って、牛乳屋が回収する。その頃は牛乳屋が各家庭を回っていた。まだスーパーにヨーグルトのパックが並ぶ前のこと。

大嫌いだったチーズ。まるで石鹼のよう。もちろん石鹼を食べたことが無いが、風貌が石鹼そっくり。私はかまぼこ、魚肉ソーセージの方がよっぽど好きだ。プロセスチーズから始まったチーズ文化。小学校低学年の頃はピザ、イタリアンレストランもなくチーズを食べる習慣はなかった。食が欧米化し、雪印乳業が大きくなるに従って、様々な乳製品が入ってくる。最初のチーズはバターのような長方形が箱に入っていた。これを波形の包丁(右図)で切って食べるのだが、好んで食べる習慣がないので冷蔵庫で乾燥して燻製ようになった。実際波型に切るのも手間だ。そして有名な三角形のプロセスチーズが流行り定着してきた。サンドイッチ用はスライスチーズが便利である。ドイツへ出張したとき、朝バイキングの食堂の真ん中に大理石の冷たいテーブルがあり、その上に各種チーズが食べ放題であった。チーズ文化圏はこれが朝メシなのかと感心した。



18.子供の定番のお菓子

●鉛筆ソーセージ

子供のおやつ定番に鉛筆ソーセージがあった。両端の金属のシメが取れなくて、歯でグリグリ回してとる。味は、かまぼことは違うが油っこくなく、さっぱりしていて小腹にはちょうどよい。ニッスイ、マルハ、東洋水産が大手メーカー。味はさほど変わらない。チーズと違ってシナモン味とか、燻製風とかのおしゃれ感はない。魚肉ソーセージは焼いてお弁当のおかずにしても油が浮かず最適です。資料によると1949年に西南開発工業協同組合が初めて試作に成功したそうで、純国産です。日本人らしい発明です。



●マーブルチョコ

幼稚園の園児には鉄腕アトムとマーブルのセットは最強である。シールを集めるために買ったもんだ。アトム、ウランとその頃は意味もわからなかったが、21世紀はこんなロボットの世界になるのか？ワクワクした。アニメキャラクターとセットに



なったお食品がTVの普及とともにマーケティングのツールとなった。永谷園お茶漬はエイトマン、森永ココアはオオカミ少年ケン、グリコのおまけの鉄人28号等、おまけ欲しさにお菓子を買って怒られたのは一度や二度ではなかった。

●駄菓子屋さんでは

町中で駄菓子屋がなくなり、代りにコンビニができた。駄菓子屋周辺は子供の社交場で賑やか。そこは学校の教室とは違う上下、左右関係が支配する。十円、五十円を握りしめて、今日のおやつを買う。昔話からK子と相談して以下5つをノミネートしました。

1.たまごボーロ、2.五家宝、3.鈴カステラ、4.甘食、5.シベリア

1から3は駄菓子屋で、4から5は昔ながらのパン屋にあったもの。甘食は部活の帰りの買い食いの定番だった。シベリア(右上写真、別名羊羹カステラ、1916年)はカステラの中に羊羹が入っているもので何故シベリアかは不明です。あの頃駄菓子屋に入り浸っていた。



シベリアの語源は何？

19.入院したらバナナ

幼稚園の頃は入院したらバナナを見舞いにもらって、いいなと思っていた。それほど珍しい南国の味。私は今まで3日以上、寝込んだこと、手術や入院もない。今後、大きな病気や怪我をして長期入院で医療保険の元をいつかは取ってやろうと野望を抱く。中学ぐらいから、入院のお土産がバナナからメロンに変わり、もう高専時代ではバナナは庶民の安い完全食品としてTVの健康番組に取り上げられる。



今、バナナの効用を調べてみると、免疫力向上、白血球の増加があった。このため、またカリウムを含むので病院の見舞いに最適となっただろう。今からでも遅くない、入院したらやっぱりバナナのお見舞いももらいたい。子供のころからの憧れ、夢であった。入院したら学校へ行かなくてもいいし、試験もない。でも、K子が言うに、「猿は寝てられないから、ベッドの上は死ぬほど苦しいよ」と、結婚してからもう2回も入院している経験者は語る。写真は憧れの退院祝いの果物カゴ。

退院したらもらいたいカゴ

20.ハイカラな粉もん

ホットケーキミックスとゲンコツドーナッツ。ホットケーキが市民権を得たのは何時頃だったのでしょうか？アメリカのTVの影響？昭和産業、日清があった。これなら僕にもできると水で溶いてフライパンで焼くが、どうしても底面が凸凹のフライパンとガスレンジ

では均一な焦げ目ができない。ちょっと目を話すと一面墨を塗ったように焦げて、がっかりです。これを2枚重ね、バター（なければマーガリン）を入れて、シロップをかけてナイフとフォークで頂くと、これはアメリカの朝食となる。ほんと？こだわりは甘いシロップだが、これをメープルシロップにするか、蜂蜜か、はてはジャムか？悩むが、やっぱりホットケーキにはメープルシロップをかけてバターとシロップが染み込んだシットリ生地を食べたい。断面に大きな泡がかんでいるとちょっとがっかり。ちなみにジャムやホイップクリームをでデコレーションするのは嫌いです。これではデコレーションケーキでしょう。

ゲンコツドーナツ。おかずのコロッケではなく、お菓子です。中国語だと、開口笑(カイクウシャオ)ドーナツ。一時、流行った。姉が作るのが好きでこれにグラニュー糖をまぶして、今から思うと悪いおやつですが、子供ですから、外で発散消費したカロリーの補充です。しかし、40歳過ぎの大人が食べるものではないなでしょう。

その昔、39歳の時初めてアメリカ出張で一人でサンフランシスコ空港で必死になって地方空港便を探していたとき、アメリカの農協風のシニア団体がフードコーナーで食事をしていて。驚いた、びっくり、何！、ドーナツ、ビザ、マクドナルド、ホットドック、でっかいコーラ。シニアの食べ物ではない。なるほど、年なりに食べるものが無く、みんなハイカロリー食品ばかり。巨大なお尻もうなずける。日本人は骨格的にあれほどの体脂肪を支えられないのでその前にダイエットするが、奴らはお構いなし。東洋の頭の黒い鼠は私だけで、圧倒された。



アメリカかぶれのホットケーキ、理想の仕上がり、ゲンコツドーナツ

●子供の頃の思い出の味は何？

どうだったでしょうか？昭和30-50年の子供時代、白黒アメリカTVで見た洋食、ケーキ、お菓子が実際に町で売られ、食べられるようになった。私が清水市の中学の時、初めてマクドナルドが銀座にオープン(1971年)した。だから、これらが懐かしい子供の味ではない。私の幼少の味は寒天、心太、わらび餅、おでん、お団子である。シニアになると

やっぱり和菓子です。最近は全然ケーキ類は食べていない。よかったなー。●今月の芸能..自作の漢詩

冬によく見かけるが、一年中います。ピーイと鳴きながら数羽の集団で木に群れています。畑を荒らす悪ものでもあり、嫌われます。

鶉ひよどり

疾風震空気 疾風の如く空気を震わせ

冠頬紅風羽 冠と赤い頬の風の羽

彪音速走矢 音速を超える矢のよう

回首看過鶉 振り返りヒヨドリを見る



公演のテーブルにヒヨドリ